

[横浜能楽堂]
平成 27 年度業務報告及び収支決算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上2階地下2階建
敷地・延床面積	建築面積1,771m ² 延床面積5,862.53m ²
開館日	平成8年6月28日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から平成29年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

古典芸能の専門施設として「文化芸術による魅力・活力の創出」の役割を果たすために、芸術性の高い事業や国際交流事業の実施により横浜からの芸術創造発信を行いました。また、開館以来目指している「敷居の低い能楽堂」という目的のもと、事業、運営において、市民が気軽に古典芸能に触れる機会を様々に展開し、市民が豊かな創造性を育くむ取り組みを推進しました。

(2) 27年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

国際事業として「日韓国交正常化50周年記念 日韓伝統音楽祭50~50年目・50歳未満の50人~」及び「音楽革命 パブロ・シーグレル&藤原道山」を開催し、それぞれの国が持つ文化や音楽の多様性を知らしめる事業を展開しました。また普及事業として「横浜狂言堂」「親子能楽ワンダーランド」「バリアフリー能」など社会的意義の高い事業を着実に実施し、古典芸能の観客層の裾野拡大に努めました。とりわけ「バリアフリー能」は、15年に渡る継続的な開催と障がい者への様々なサポートが評価され、内閣府バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者内閣特命大臣表彰優良賞を、全国の劇場として初めて受賞しました。

② 運営の総括

施設見学、施設利用などの相談に対応し、古典芸能に触れる機会の拡大に努めたほか、電車広告、英文ちらしや公演時の英語タブレットガイドなどを試み、施設の周知や多言語化への取組みを行いました。

③ 管理の総括

「安心」「安全」「快適」な施設を提供するために、設備の予防保全や、利用者・来場者の声などに迅速に対応しました。

4 自主事業についての達成状況

(1) 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業について

〔目指す成果〕

敷居が高いと思われがちな能楽等の古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。

〔成果についての振り返り〕

体験・講座などを取り入れた事業や公演として良質で芸術性の高い事業まで幅広く展開し、古典芸能に関する興味や関心の拡大につながりました。

〔取組内容〕	〔達成指標〕	〔実施内容と達成状況〕
幅広い層が鑑賞しやすい ように条件整備をした「普及公演」を実施します。		<input type="checkbox"/> 安定的・定例的に、お求めやすいチケット代金により普及公演を実施することで幅広い層への鑑賞を促しました。
●「普及公演-横浜狂言堂」 毎月第2日曜日に開催 12回	「普及公演-横浜狂言堂」 <input type="checkbox"/> 券売率65%以上	<input type="checkbox"/> 普及公演 横浜狂言堂を毎月第2日曜日に開催。 (全12回の平均券売率: 96.9% (各回券売率 99.2%、97.3%、99.6%、99.4%、99.6%、95.9%、91.4%、95.5%、98.4%、92.0%、97.1%、97.1%) 狂言2曲と演者によるお話という内容と手頃なチケット代金で、初めての方にも気軽に楽しんでもらえる公演としました。お客様にご自身のチケットと一緒にもう一枚分のチケット代金をお支払いいただくと、児童養護施設にいる子どもたちが公演を鑑

		<p>賞できる「もう一枚のチケット」プロジェクト」を引き続き実施し、合計 19 人の子どもが公演を鑑賞しました。1月の公演時には来場者のうち約 50 名に呈茶席を実施しました。</p> <p>また、初めて東急線内における電車動画広告と英文ちらしを作成し、事業の幅広い層への周知に努めました。</p>
● 「普及公演-バリアフリー能」 1回	<p>「普及公演-バリアフリー能」</p> <p>□券売率 50%以上</p>	<p>□「普及公演-バリアフリー能」3月 19 日実施。介助者無料チケットを含め券売率 77.6% (介助者チケット分を除くと 59.5%)。</p> <p>事前に「聴覚障がい者向け」と「視覚障がい者向け」の見学会を行ったほか、お客様対応を行うスタッフを対象に「聴覚障がい」の方を迎えるための研修を行い、ハードとソフト両面のサポートに関する見識を深めました。そのほか、介助者 1名無料、点字解説文、点字チケット、点字チラシの用意、舞台触図、副音声（同時解説放送）、解説時の手話通訳、詞章の用意等のサポートに加え、メガネ型の「ウェアラブル（眼鏡型）端末」「ipad」を利用しての配信を実施しました。ウェアラブル端末を 20 台導入したことによりお客様に好きな座席をお選びいただくことが可能となりました。また公演終了後の「聴覚障がい者の方の意見交換会」では、関係者からウェアラブル端末の使用感として、配信が安定している、同一視野に舞台と字幕がおさまり鑑賞しやすいなどのメリットや磁気ループの導入希望について意見を聞くことができ、次回以降の検討につながりました。</p> <p>・ インタビュー・写真付き記事掲載 4 紙。</p> <p>当日の公演の様子が NHK 首都圏ニュースで 2 回にわたり放映されました。</p>
● 「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」 1回	<p>「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」</p> <p>□券売率 65%以上</p>	<p>□「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」</p> <p>8月 8 日実施。券売率 80.2%</p> <p>午前中の第 1 部をワークショップ、午後の第 2 部を鑑賞とし、変化に富んだ能「殺生石」と、小学 6 年生の国語の教科書に掲載されている狂言「柿山伏」を 1977 年生まれの若手能楽師で構成するグループ「七拾七年会」の出演で開催しました。第 1 部では</p>

		<p>能と狂言の動きや発声と4つの楽器を体験しました。第2部の冒頭でもミニワークショップを行い、館内各所でクイズによるスタンプラリーや写真撮影コーナーを実施し、公演により親しんでもらう工夫を凝らしました。夏休みの一日を親子でフルに能楽に親しめる機会を提供することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真付き記事掲載1紙
現代を代表する演者が出演する芸術性の高い「特別公演」の実施 ●「特別公演」 1回	<p>「特別公演」 □券売率 65%以上</p>	<p>□「特別公演-蠟燭能-」 7月5日実施。券売率 96.3% 蠟燭灯りによる演出で、世阿弥作の名曲、能「融 白式彩色之伝」を人間国宝の梅若玄祥の出演で上演しました。幅広い観客から幻想的な雰囲気の中の公演を楽しんだという声をいただきました。また休憩時と終演時に呈茶席を実施し、来場者のうち約100名の方に新しい楽しみを提供しました。</p>
芸術性・学術性があり創造・発信性の高い「企画公演」、海外との古典芸能分野での国際交流事業を実施します。財団所管施設とも連携して実施します。 ●企画公演「生と死のドラマ」 全4回シリーズ	<p>□各公演とも券売率 65%以上</p>	<p>□企画公演「生と死のドラマ」 1月30日、2月11日、2月20日、3月21日実施。 券売率 10月31日実施。券売率 95.1%、95.9%、92.8%、95.3% 能・狂言が花開いた中世は、生と死は今よりずっと身近な時代でした。それを象徴するように、能・狂言の作品において、人は靈として現れ草木などにも人格が宿り、生きるものは「生」「死」に直面し一喜一憂する姿が描かれます。この能・狂言に見られる死生観をテーマに据え、「老いをどう生きるか」「死者の行く先」「忠」と「情」の選択」「万物に宿る生命」をそれぞれテーマに能・狂言の演目を上演し、各回にふさわしい文化人・識者による解説が非常に好評を博しました。能の最奥曲「鸚鵡小町」、復曲作品である「重衡」の上演や能「仲光」の古演出による上演など、毎回趣向を凝らしたプログラムが話題を集めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー記事が全国紙4紙に掲載、舞台評論が1紙掲載されました。
●企画公演「琉球の美 技と技」1回		<p>□企画公演「琉球の美 技と技 -人間国宝の衣装で人間国宝が踊る-」 10月31日実施。券売率 90.5% 沖縄には東京、京都に次いで多くの「人間国宝」が</p>

		<p>存在します。特徴的なのは染・織物の人間国宝と芸能の人間国宝が共存している点に着目した公演です。琉球の織と染の人間国宝が製作した衣装を、舞台で組踊の人間国宝が身に着けるという豪華な企画で、チケットは早々に完売しました。衣装が実際に纏われ舞台上で立体的に動く様子に高い関心が寄せられ、来場者満足度が非常に高い公演となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真付き記事が琉球新報はじめ3紙に掲載されました。
●伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」 1回		<p>□伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」 1月 16 日実施。券売率 87.2%</p> <p>共にユネスコの「世界無形遺産」に指定されている能と沖縄の組踊。組踊の中でも能の物語や技能を取り込み、玉城朝薫が作った「朝薫の五番」という作品群とそのゆかりの能五番とをそれぞれ組み合わせ、5年間に渡って上演する企画の2回目の公演で、今回は能「羽衣」と組踊「銘苅子」を上演。お客様からは「能と組踊それぞれの共通点と違いが感じられ興味深い」という声が多く聞かれました。この公演では英文タブレットガイドを試験的に導入してアンケートを実施したところ、公演の進行に沿った解説が非常に理解の助けになるという感想があり、今後の日本語を母国語としない来場者への能楽鑑賞プランの参考となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 舞台評論 1紙掲載。
●日韓国交正常化 50 周年記念公演 1回		<p>□日韓国交正常化 50 周年記念 横浜能楽堂・横浜みなとみらいホール提携公演「日韓伝統音楽祭 50-50 年目・50 歳未満の 50 人」 11月 21 日実施。券売率 61.9% 横浜みなとみらいホール大ホール</p> <p>日韓国交正常化 50 周年を記念し、両国の伝統音楽をベースとして活躍する 50 歳未満の音楽家が 25 人ずつ出演。4 時間半に渡る熱演を繰り広げました。アンケートでは 9 割を超える方が「大変良かった」「よかった」と回答し、音楽を通じて両国の出演者同士の交流が実現した様子が伺え、周年にふさわしい充実した事業となりました。</p>

		<p>横浜能楽堂の席数 486 席と比して会場である横浜みとみらいホールは 1,167 席と 2 倍以上のキャパシティがあったこと、また今後の日韓の文化交流につながるよう将来性に着目してそれぞれの出演者を決定したため、券売率が目標に届きませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー記事が全国紙 4 紙を含む 10 紙に掲載されました。
●琉球舞踊 芸大 OB in NY 1回		<p>□横浜能楽堂&ジャパン・ソサエティ提携公演「琉球舞踊 受け継がれる伝統」in NY 9月 18 日、19 日 公演 2 回、9月 19 日ワークショッピング 1 回 ジャパン・ソサエティ オーディトリアム（ニューヨーク） 260 名 × 2 回（満席） 沖縄県立芸術大学の卒業生による琉球舞踊の公演をニューヨークのジャパン・ソサエティとの提携で開催。単なるエスニックダンスという物珍しさではなく、琉球舞踊の芸術性と本質をアメリカの観客にも伝えることができスタンディングオベーションが起こる公演となりました。また現地紙「ニューヨーク・タイムズ」The Arts の批評欄に舞台を絶賛する記事が大きな写真付で掲載されました。</p>
●「新たなる音の旅路」 1回		<p>□「音楽革命 Music Revolution パブロ・シーグレル&藤原道山」2月 27 日、2月 28 日の 2 回実施。 券売率 95.9%、90.0% 横浜みとみらいホール小ホール ピアソラ・バンド最後のピアニスト、パブロ・シーグレルと邦楽の貴公子、藤原道山の共演という新しい試みにより、幅広い客層が来場しました。邦楽とタンゴのコラボレーションにより、それぞれの音楽の個性と魅力が際立ちました。「横浜とブエノスアイレスの港町をイメージしてパブロ・シーグレルが作曲した横浜能楽堂委嘱作品「12 horas ～重なる瞬間～」は、新しい文化を取り入れて発展していく横浜のイメージとも重なり、CD 化を望む声も多く聞かれました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー記事が全国紙 3 紙および地方紙 1 紙、専門誌 1 誌に掲載されました。

<p>公演とは違った形で古典芸能を楽しめる「講座」の実施</p> <p>●「梅若玄祥のスリーステップで学ぶ能」 1回開催</p>	<p>「梅若玄祥のスリーステップで学ぶ能」 □券売率 65%以上</p>	<p>□講座「梅若玄祥のスリーステップで学ぶ能」 9月 19 日実施。券売率 97.7%</p> <p>「鑑賞だけでなく、もっと学びたい、知りたい」という方々に向け、源氏物語『夕顔巻』、能『半蔀』を題材に、三田村雅子氏、馬場あき子氏、梅若玄祥氏の講義を聞いた後、最後に能『半蔀』を鑑賞するという内容。能のシテである梅若玄祥氏自ら講座講師を勤めるため「演者の立場からの話が聞けるのは貴重」と好評で、能への理解をより深め 1 日たっぷり能を楽しむ催しとなりました。講座がお昼を超えて 1 日かけて学ぶスタイルのため、崎陽軒のお弁当の予約を用意したほかランチマップを作成し来場者へ配布しました。</p> <p>・写真付記事掲載 1紙。</p>
<p>自らが体験する「教室・ワークショップ」の実施</p> <p>●「こども狂言ワークショップ～入門編 (全 3 日)」1回</p> <p>●「こども狂言ワークショップ～卒業編 (稽古全 10 回)」1回</p>	<p>□各教室・ワークショップとも参加定員の 80%以上 こども狂言ワークショップ～入門編 □16 名以上</p>	<p>□「こども狂言ワークショップ～入門編」 8月 3 日-5 日実施。30 名参加、定員の 100%</p> <p>□「こども狂言ワークショップ～卒業編」 1/8-3/25 全 10 回実施。2 名参加。 こども狂言ワークショップ～入門編の参加者に希望を募りましたが日程が合わないことから、昨年度の 6 名から参加人数が減少してしまいました。次年度はお稽古時間を工夫し、より多忙なこどもたちが参加しやすいようにします。</p>
<p>●「横浜こども狂言会」 1回</p>		<p>□「横浜こども狂言会」 3/26 申合、3/27 実施。 「こども狂言ワークショップ～卒業編～」参加の小 1 と小 3 の 2 名が出演。稽古風景の取材があり新聞 2 紙に掲載されたほか、当日の発表会が t v k ニュースで放映されました。会の後半は「こども狂言ワークショップ」卒業生で組織する「いろはの会」のこどもたちが出演しました。</p>

<p>●「初めての能楽教室シリーズ『謡・仕舞』『能管』『太鼓』(稽古全10回+発表会)1回</p>	<p>初めての能楽教室 □3教室計35名</p>	<p>□「初めての能楽教室シリーズ」は「謡仕舞教室」「小鼓教室」「大鼓教室」10月～1月稽古、2月6日3教室合同発表会実施。 3教室計44名参加。(謡仕舞20名、笛12名、太鼓12名) 参加率100% 謡仕舞教室は今年度、喜多流から宝生流に流派を変更。講師の熱意ある指導により、教室終了後に継続して稽古を続けたいという生徒さんが例年以上に多く、講師の主宰する教室への8名入門がありました。</p> <p>□横浜能楽堂友の会「かもん会」の運営会員数801名。チケットの先行申込みや、特別展示における会員限定ギャラリートーク、無料呈茶、財団他施設の割引など実施し会員数維持に努めました。</p>
---	------------------------------	---

(2) 横浜能楽堂及び能楽等に関する情報の提供について

<p>[目指す成果]</p> <p>公演情報を収集・提供し、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>広報媒体への働きかけや、ブログ・ツイッター、インターネット動画配信など、様々なツールを使った広報展開で能楽堂を知り、足を運んでいただく取組みを行いました。</p>	<p>[取組内容]</p> <p>●公演情報等の収集・提供 ●ホームページ・ブログ・ツイッターの活用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□新聞、雑誌への記事掲載年間24回 □ホームページアクセス数：月平均51,000</p> <p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□新聞への取材記事掲載年間39回（月平均3.3回）。 その他情報掲載数59件（月平均4.9件）。 □ホームページアクセス数　月平均74,032 10月に「日韓伝統音楽祭50」の特設サイトをホームページ内に開設。 □ブログ年間6回更新。 twitter月平均22ツイート（年間計263ツイート） 鮮度の高い情報発信を目標に、ツイッターを中心に情報提供を行いました。</p> <p>■「横浜狂言堂」の東急線内電車動画広告 期間3月6日～3月13日実施、15秒広告</p> <p>■「横浜狂言堂」の英文ちらしの作成 5000枚。全国能楽堂、市内・県内文化施設・観光案内所のほか市内ホテル1カ所に配布</p>
--	--	--

●ニコニコ動画の活用	■公演の実験中継を実施し、直接来られない方へ認知度を高めます	■ニコニコ動画で横浜狂言堂の生中継を6回実施しました。昨年度に引き続き、普段能楽堂に足を運ばない新たな層にもアプローチすることができました。視聴者同士でコメントをしながら視聴できるという、新しい狂言の鑑賞スタイルを提供でき、気軽に狂言を楽しめる場として活用できました。 (年間視聴者数 2,547人、1回あたり平均視聴者数425人 コメント数7,559、1回あたり平均コメント数1,260)
●国内外の古典芸能の現状等を現地に赴き、文化・観光の視点からも調査	□今後の事業企画のための基礎調査として国内1カ所、海外1カ所調査し、今後の事業に生かします。	□沖縄、フランス、イタリア及び米国・ニューヨークで調査を行いました。 沖縄では、組踊を始めとする古典芸能の調査を実施しました。今後さらに共同制作の検討を進めていきます。 フランス、イタリアでは翌年度以降に実施する予定の公演の打合せに併せ、オペラ公演・劇場・文化施設の視察を実施し、今後の企画・制作の参考となる調査を行いました。米国・ニューヨークではジャバン・ソサエティ公演に併せ、今後の企画の参考のため舞台公演・文化施設の視察を行いました。
●調査研究の成果を基礎とした展示の開催	□特別展を1回開催します。	□特別展「琉球の染と織-人間国宝二人展-宮平初子・玉那覇有公」10月31日～12月20日 来場者2,145名 企画公演「琉球の美 技と技-人間国宝の衣装で人間国宝が踊る」の開催に合わせ、琉球の染の人間国宝・玉那覇有公、織の人間国宝・宮平初子の手による衣装を2階展示廊にて計12点展示しました。今回の公演に合わせ特別に眺めた衣装を含め、間近で見る衣装の色彩や質感の素晴らしさに感動したとの声がありました。

(3) 能楽等の公演、練習その他の活動の支援について

[目指す成果]

利用者の公演事前準備や稽古場探し等の活動を支援することで、古典芸能の振興・普及を促します。

[成果についての振り返り]

能楽堂利用に対するサポートや、古典芸能に関する催しの実施へのアドバイス・運営協力など、専門性を発揮しました。また（公財）横浜観光コンベンション・ビューローとの連携により、クルーズツアーオペレーター運営会社や海外メディアからの見学、取材について積極的な受入れを行いました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●「施設を利用したい」「稽古したい」「公演・ワークショップを開催したい」という利用者の「実現したい」をサポートします。	■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』を実施します。（公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援など）	<p>■広報やオペレーションのアドバイスや情報提供、日本舞踊や撮影等で初めて能舞台を利用する方向けに進行のサポートなどを実施しました。</p> <p>■クルーズツアーオペレーター運営会社には能楽及び能舞台の紹介とともに能楽公演実施について情報提供しました。</p>

(4) 能楽等に関する地域との連携事業について

[目指す成果]

地域団体等と連携しながら公演を行うことで、古典芸能の活性化を促します。

[成果についての振り返り]

横浜市内の能楽愛好団体との連携や、能公演実施の連携など、古典芸能の活性化に寄与したほか、視察や見学の積極的な受入れ、周辺イベントの参加など、よりいっそう能楽堂を知っていただけるよう取り組みました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
地元企業・実演家・関連団体・地域団体等と連携した事業実施 ○横浜能楽連盟と協力して「横浜能」を開催します。	□1回	<p>□「第63回横浜能」6月20日実施。券売率97.7%。 横浜能楽連盟との共催。 観世流のシテ方で横浜市内在住の能楽師・岡本房雄による能「西王母」と野村万蔵の狂言「止動方角」を上演しました。</p>
○ふるさと西区実行委員会と協力して「かもんやま能」を開催します。	□1回	<p>□「第32回横浜かもんやま能」10月4日実施。 ふるさと西区推進委員会、西区役所との共催。 能「隅田川」、狂言「月見座頭」を上演。 10月22日に西区平沼小学校で実施された関連出前講座に協力しました。</p> <p>□横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム実施 1校 緑区緑園東小学校で山本東次郎家による狂言のワーク</p>

	<p>ショップを実施し、小学校6年生約90名が参加しました。その後12月に横浜能楽堂への児童の施設見学が実現し、よい学びの循環が生まれました。</p> <p>■一般社団法人伝統組踊保存会との提携で1/16「能の五番 朝薫の五番」実施（再掲）</p> <p>■昨年度に引き続き、横浜国立大学による学校における能楽教材製作のため撮影協力(1事業)を行いました。今後の事業や運営に生かすなど活用の可能性を視野に、公演映像を資料として提供いただきました。</p> <p>■昨年度に引き続き、野毛地区まちづくり会、横浜商科大学等が主催する「野毛まちなかキャンバス」の講座を担当。11月30日「横浜能楽堂探訪～140年余りの歴史を持つ関東最古の能舞台～」として開催し、20名の受講生に能楽や横浜能楽堂の能舞台の歴史の説明に加え舞台裏の見学を行い、地域の文化資源に関する理解を深めてもらいました。</p> <p>■横浜市観光キャンペーン「ロマンティック・ゲームフェスティバル2nd」のスタンプラリーに1月16日から3月17日まで参加し、普段来館することの少ない層へ横浜能楽堂について知ってもらう機会となりました。ラリーシート配布82、景品交換61、来場者1,292人以上。</p> <p>■桜木町地区の花見関連イベントである「みなどみらい21 さくらフェスタ2016」に初めて参加し、来館者増・ショップ商品売上増につながりました。</p>
--	--

5 施設の運営について

(1) 人員配置

[取組内容]	[達成指標]			[実施内容と達成状況]
	項目	人 数	備 考	
名譽館長	1	非常勤		名譽館長 1 (5月退職)
館長	1			館長 1
チームリーダー	2			チームリーダー 1
事務職員	6			事務職員 6
補助職員	18	B1 事務所 補助職員 2、 1F 受付 16		補助職員 18

(2) 勤務体制

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
基本名譽館長、館長を除き、ローテーション体制で、勤務体制を調整し、柔軟に対応します。	館長 9:30~18:15 チームリーダー、事務職員 A勤務 8:45~17:30 B勤務 13:15~22:00 補助職員 (B1事務所) A勤務 8:45~17:15 B勤務 13:30~22:00 補助職員 (1F受付) A勤務 8:55~14:40 B勤務 14:30~20:15	館長 9:30~18:15 チームリーダー、事務職員 A勤務 8:45~17:30 B勤務 13:15~22:00 補助職員 (B1事務所) A勤務 8:45~17:15 B勤務 13:30~22:00 補助職員 (1F受付) A勤務 8:55~14:40 B勤務 14:30~20:15

(3) 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●能舞台の制約を守りながら、能楽以外（琉球芸能・邦楽・日本舞踊等）での利用にもできるかぎり施設を提供します。	■能楽以外での利用にもこまやかに対応できるよう相談窓口機能を強化します。	■クルーズにおける立ち寄り先として視察や、アフターコンベンション利用やロータリークラブからの貸館相談において、運営サポートを行いました。
●業務の基準に基づき、開館時間・利用料金の徴収・施設点検日の周知を行います。	■業務の基準に基づき業務を行います。	■小中学校の教師向け「能楽体験教員セミナー」運営・開催の相談や広報サポートを行ったほか、横浜狂言堂9月公演で『街コン』イベントへの協力を行い、イベントに対する高い満足度を得たとのフィードバックがありました。

(4) 利用促進及び利用者サービスの向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●利用率向上のため、利用申込への柔軟な対応を行います。</p>	<p>目標利用率</p> <p><input type="checkbox"/>本舞台(日) 30%</p> <p><input type="checkbox"/>第二舞台(日) 70%</p> <p><input type="checkbox"/>研修室(コマ) 30%</p> <p><input type="checkbox"/>楽屋(コマ) 25%</p>	<p><input type="checkbox"/>本舞台(日) 36.7%</p> <p><input type="checkbox"/>第二舞台(日) 54.8%</p> <p><input type="checkbox"/>研修室(コマ) 29.8%</p> <p><input type="checkbox"/>楽屋(コマ) 26.2%</p> <p>本舞台と第二舞台の二つの舞台を持つ能楽堂は全国でも数少なく、当能楽堂では能舞台の利用が分散されてしまうことが第二舞台の利用率未達の要因となっています。そのため利用申込受付期限後の利用希望や、能楽以外の利用希望、撮影利用に関して、できるかぎり柔軟に対応しました。施設パンフレットに利用料金表を新たに追加作成しました。平成28年度に向け、施設のWEBページを活用し写真や動画により視覚的に訴え利用促進を図るほか、パンフレットの配布により広く施設貸出の周知を行います。</p> <p><input type="checkbox"/>横浜能楽堂への道案内及び施設利用・見学の動画を作成し、You Tubeにアップしました。</p>

(5) 組織的な施設運営について

[取組内容]	[達成指標]	[取組内容]
<p>●施設の使命、ならびに第2期指定管理期間の政策目標を達成するために、適切な経営組織を構築と人材の確保に努めます。</p>	<p><input type="checkbox"/>専門性向上のための研修を年1回以上行います。</p> <p><input type="checkbox"/>「バリアフリー能」研修を年1回行います。</p>	<p><input type="checkbox"/>「能装束講座」3回実施</p> <p>常設展の能装束の入替に合わせ、能装束研究者であり、能装束復元も行っている、山口能装束研究所の山口憲氏より、能装束からみる能の歴史など、興味深い話を聞きし、能楽の知識を深めることができました。</p>
<p>●配置されている職員ならびに補助職員については、業務を通じたOJTならびに研修等を通じてスキルアップを図ります。</p>	<p>■事業企画・実施、利用者対応・サービス、施設維持管理につき、体制の維持向上により質の高い施設運営を行います。</p>	<p><input type="checkbox"/>「バリアフリー研修」3月7日実施。</p> <p>「NPO 法人メディア・アクセス・サポートセンター」の協力により、聴覚障がい者への情報保障について学びました。特にウェアラブル端末を使った字幕配信や UD キャストによるバリアフリー化の技術について知識を深めました。</p> <p><input type="checkbox"/>「マイナンバー研修」</p> <p>平成28年1月1日より施行されるマイナンバー制度について研修を実施し、コンプライアンスと個人情報取扱について意識を高めました。</p>

(6) 施設見学等への対応について

[取組内容]	[達成指標]	[取組内容]
●横浜能楽堂や古典芸能について広く知っています。 ただくため、施設見学日を定期的に設けます。	□施設見学日を月に 1 回開催します。 □常設展 展示替え年 2 回以上	□毎月 1 回、無料施設見学日を開催。12 回実施。計 210 名が参加。 □学校関係の見学 8 件・388 名（利用料金全額免除）を受け入れたほか、お土産付の有料見学を 2 件受け入れました。また、横浜観光コンベンション・ビューローと連携しクルーズ運営会社やエア・アジア・ジャパンからの視察 4 件に対応し、館のプロモーションにつなげました。
●教育機関対象に減免制度を設け、施設見学を利用しやすい環境を調えます。		□常設展 展示替 3 回（5 月、8 月、12 月）
●常設展示について、定期的に展示替えします。		

(7) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減や効率的運営の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[取組内容]
●助成金等獲得努力 ●事務経費削減の努力 ●外部機関との連携による事業実施	□外部資金獲得目標 1,000 万円以上 ■チラシの作成枚数を常に精査するなど、高い意識を持ち常に経費削減に努めます。	□助成金獲得 文化庁劇場・音楽堂活性化事業（活動別支援事業）として 25,382 千円を獲得。自主財源率を高めるため広報等を精力的に行い券売率の向上に努めました。 ■他機関（一般社団法人伝統組踊保存会、ジャパン・ソサエティ）との提携公演を行うなど、事業費の負担が少なく質の高い事業を実施する工夫を行いました。 ■沖縄県酒造組合から公演レセプションで提供する酒類の現物協賛を受けました。

利用状況等について

横浜能楽堂	27年度	
	稼働率	利用者人数
本舞台	36.7% (39.0%)	24,594 人
第二舞台	54.8% (28.4%)	4,695 人
その他		24,599 人
合計		53,888 人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

6 施設の管理について

(1) 保守管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	
<ul style="list-style-type: none">●設備機器の稼働状況を観察しつつ、トラブルを未然に防ぐよう定期点検を実施します。●施設修繕の計画的な実施に努め、施設、設備の長寿命化を図ります。	<ul style="list-style-type: none">■業務の基準に基づき保守点検を実施します。<input type="checkbox"/>過失事故 0 件	<ul style="list-style-type: none">■年間を通じ定期的な保守点検を実施しました。<input type="checkbox"/>過失事故0件。経年劣化にともなう空調設備の停止事案が複数回発生しましたが、施設運営・利用には支障のないよう対応しました。■施設修繕の計画的な実施を行いました。来館者の安全にかかわる補修については、横浜市と協議の上実施し、大規模案件については、文化振興課との情報共有に努めました。

(2) 環境維持管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none">●施設の状態を清潔に保ち、利用者が快適に利用できるように管理を行います。●施設周辺に配慮した植栽管理業務を行います。	<ul style="list-style-type: none">■業務の基準に基づき維持管理業務を実施します。<input type="checkbox"/>アンケートでの快適評価 4.0 以上<input type="checkbox"/>過失事故 0 件	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>アンケートによる平均評価は4.38でした。<input type="checkbox"/>ハード面での事故ゼロでした。

(3) 保安警備業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none">●業務の基準ならびに別添資料に基づき、24時間警備を実施し、利用者の入退出を適切に管理します。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>過失事故 0 件	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>事故ゼロ

(4) 駐車場管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none">●業務の基準ならびに別添資料に基づき、施設利用者、近隣住民の安全管理のため、駐車場利用車両の安全誘導に努めます。●業務の基準に基づき保守点検を実施します。	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>過失事故 0 件<input type="checkbox"/>保守点検 年 1 回以上	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>駐車場における事故ゼロ<input type="checkbox"/>機械式駐車場について、機能維持点検を 1 回実施しました。

(5) 防災等について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●関連法規に基づいた届出等を行います。	<input type="checkbox"/> 消防訓練 年2回実施 <input type="checkbox"/> 消防設備の取り扱い研修 年2回実施	<input type="checkbox"/> 消防訓練7月23日、1月26日に実施。消防訓練と併せてノロウイルス対応手順および車いす来場者を想定しての避難訓練を行いました。
●「危機管理マニュアル」に基づき、災害時に観客を安全に誘導できるようスタッフの消防訓練を行います。		
●西消防署と協定に基づき連携して防災に取り組みます。		

(6) 緊急時の対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●訓練等を通じ全スタッフに対応の徹底を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応します。 <input type="checkbox"/> 消防訓練 年2回実施(再掲)	<input checked="" type="checkbox"/> 関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応しました。 <input type="checkbox"/> 7月23日、1月26日に実施。((5) 防災等について参照)

(7) 文化財の保護について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●スタッフによる日常点検を行い、必要に応じて建築時に携わった日本建築専門業者による簡易点検を実施し、修繕を行う必要が生じた場合は横浜市と協議します。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基準に従い適切に管理します。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常点検 隨時 <input checked="" type="checkbox"/> 専門業者による簡易点検 日常点検等において必要と認められた時	<input checked="" type="checkbox"/> スタッフによる日常点検を行ったほか、7月6日に12条点検を実施しました。

(8) 公園事務所、公園用公衆便所の取扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●公園事務所の鍵の管理及び公園用公衆便所の光熱水費の一時負担	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基準に従い取り扱います。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基準に従い取り扱いました。

(9) 広域避難場所用機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の取扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●広域避難場所用資機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の鍵の管理	■業務の基準に従い取り扱います。	■業務の基準に従い取り扱いました。

(10) 光熱水費の削減努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●光熱水料費等の削減に努めます。 ●日々の業務遂行上、常に高い意識で無駄の無い運営を心がけます。	■業務の基準に従い適切に管理します。 □電気使用量前年度水準を保ちます。	■業務の基準に従い取り扱いました。 □電気使用量 410,871kwh (対26年度5.7%増) □都市ガス使用量43,084m ³ (対26年度比19.2%減) □水道使用量155.71kℓ (対26年度比3.8%減) 冷温水発生機更新によりチラー（吸収式冷凍機）を導入したため電気使用量約10%アップを想定していましたが、エネルギー効率化が想定以上に大きく、前年度比で約300万円の光熱水費の削減となりました。

7 PDCAサイクルの確実な運用

(1) 業務記録について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●日報及び月報の作成・管理	■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録します。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応します。	■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録しました。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応しました。

(2) 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

①業務記録について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録します。 ●上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応します。	■業務の基準に従い記録を作成します。	■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録しました。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応しました。

②業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●業務計画書及び業務報告書を作成し管理します。	■業務の基準に従い記録を作成します。	■業務の基準に従い実施しました。

③-1 業務評価(モニタリングの実施)について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について市に報告します。	■業務の基準に従い実施します。 ■横浜市と課題ならびに成果を共有します。	■業務の基準に従い実施しました。 ■横浜市と課題ならびに成果を共有しました。

③-2 業務評価(自己評価の実施)について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●業務実績および利用者の満足度や意見を基に自己評価を行います。	■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげます。	■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげました。

③-3 業務評価(第三者による評価の実施)について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●選定評価委員会による第三者評価に対応します。	■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施し、評価内容に基づき業務改善につなげます。	■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施し、ヒアリングへの出席等を通じ以降の業務改善につなげました。

8 その他の計画 留意事項

(1) 保険および損害賠償の取り扱い

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入します。	■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応します。	■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応しました。 保険を利用する事例はありませんでした。

(2) 法令の順守と個人情報保護

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●法令を遵守し、個人情報保護に取り組みます。 ●財団主催の個人情報保護研修にスタッフが出席、受講します。 ●財団主催のコンプライアンス委員会に出席、受講します。	■横浜市個人情報保護条例等の関係法令、財団規程類、基本協定等に基づき適正に管理します。 □研修出席者は全員に情報を共有します。	■横浜市個人情報保護条例に基づき適正に管理・保護に努めました。施設内での研修も実施しました。 ■財団主催の個人情報保護研修を管理職が受講しました。 ■財団主催のコンプライアンス委員会、コンプライアンス研修に管理職が出席し、館内で情報共有を行いました。コンプライアンス研修およびマイナンバー研修について、館内で実施し職員全員が受講しました。

(3) 情報公開への積極的取り組み

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●事業計画や記者発表資料などを財団ホームページにて公開します。 ●情報開示請求については、財団の規程に従い、担当部署を通して対応します。	■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組みます。	■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組みました。 ■平成27年度清掃・警備業務委託契約の入札に関する情報公開請求があり、担当部署を通じて適切に対応しました。

(4) 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●市及び関係機関等との情報交換や業務の調整に努めます。重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・財團事務局に報告・協議し、適切な処理を心がけます。	■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応します。 ■市の要求に応じた資料の提出等 隨時	■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応しました。 ■市の要求に応じて資料を随時提出しました。 ■周辺でのイベントや自主事業のほか、消防訓練等で、戸部警察署、西消防署と連絡を密にとりました。

(5) その他

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●適切な許認可及び届出等 ●施設の目的外使用 ●名札の着用 ●人権の尊重 ●近隣対策 ●書類の管理 ●行政機関が策定する基準等の遵守 ●法律の制定及び改正への対応 	<p>■業務の基準に基づき適切に対応します。</p>	<p>■業務の基準に基づき適切に運営を行いました。</p>

9 収支決算額について

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額（決算-予算）	備考
収入				
指定管理料収入	182,893,000	182,893,000	0	
利用料金収入	15,000,000	15,717,070	717,070	
事業収入	45,700,000	49,520,900	3,820,900	
その他収入	23,084,000	24,431,436	1,347,436	
合 計	266,677,000	272,562,406	5,885,406	

支出				
人件費	79,566,000	70,091,769	▲9,474,231	
管理費	70,351,000	63,679,083	▲6,671,917	
事業費	86,170,000	91,501,995	5,331,995	
事務費	30,590,000	34,162,302	3,572,302	
合 計	266,677,000	259,435,149	▲7,241,851	

収支差額 (収入-支出)	0	13,127,257	13,127,257	
-----------------	---	------------	------------	--